

青少年センター・青少年の家管理運営事業 拡充の考え方

青少年センター・青少年の家管理運営事業

要求額 131,880 千円（平成 28 年度当初予算額：111,206 千円）

うち若者支援推進事業委託料 5,600 千円（平成 28 年度当初予算額：2,804 千円）

平成 29 年度に新規事業で立ち上げた若者支援推進事業について、低・未利用であった市有地の貸付収入を活用して、若者の社会参画を促進する上でのキーファクターであるコミュニケーション能力育成のためのプログラムを新たに実施するなど、事業内容を拡充する。

平成 30 年度に新規実施する
プログラム

～ 事業展開イメージ ～

堺市と民間機関の公民協働で、青少年センター・青少年の家を拠点に事業展開

支える

周辺環境に馴染めず
疎外感を抱える子どもへの支援

家庭の中で学習環境が整わない
子どもへの支援プログラムの実施
※民間主導／市は後方支援



育む

若者の社会関係を
構築する能力の育成

ソーシャル・スキル・トレーニング
手法を用いたコミュニ
ケーション能力の育成



体験 させる

施設の機能を活かした
若者の活動プログラムの実施

地場産業の事業者と連携した
就労体験プログラムの実施



協働 する

若者自身が参画した
機能強化策の検討

若者自身が企画する「若者の
交流の場」のモデル実施



◆子ども・若者の確かな「生きる力」の育成

◆若者と社会とが「つながる」仕組みの構築

連携

●学校教育

確かな「学ぶ力」・
「生きる力」の育成

教える



送り
出す

●若者の雇用促進

若者の就労支援
を行う関係機関

連携